

☆放課後子ども教室☆

お日さまのチカラを感じる夏らしい暑さが続いた7月。ただいま！と元気に帰ってくる子どもたちの顔には、すでに汗がにじんでいます。あっという間に過ぎてしまう北海道の短い夏です。暑い、暑いと言っているのも今のうちだと思えば、この暑さを楽しまなければ損ですね。

6月後半から7月のプログラムでは、缶けりやケイドロ、夏の自然探検などの外遊びや、おやつづくりやモノづくり、毎年恒例となっている水鉄砲合戦などを行ないました。

天気の良い日、「外で遊びたい！」という声が子どもたちからあがります。室内で遊ぶことが好きな子どももちろんいますが、学年を問わず、外遊び人気はいまだに衰えていない印象を受けます。自然探検では葉っぱをテーマにピンゴや、葉っぱドレスファッションショーを行いました。当たり前にある身近な自然ですが、よく見てみる機会は意外と少ないのかもしれないかもしれません。同じような形の葉っぱでも、周りがギザギザしているもの、ツルっとしているものがあります。触ったり匂いをかいでみたりする中で、子どもたちには色々な発見があったようです。缶けりやケイドロは、仲間を助けるため、オニから上手に隠れながら逃げたり、全力で走ったり、頭と体をしっかり使ってみんなで遊べるゲームです。活動中、今年も様々な作戦が繰り出されました。作戦が功を奏する場面もあれば、その作戦がもってケンカに発展してしまう場面もあります。どうするのかな？と子どもたちの様子を見てみると、低学年はお互いの主張が一方通行で平行線をたどりますが、高学年では子どもたち自身で問題点を見つけ、自分たちで解決することが少しずつできるようになってきました。こっそり耳を傾けつつ、背中で感じる子どもの世界。口を出したくなる部分も多々ありましたが、ぐっとこらえて見守ることも私たちスタッフの役割だと思っています。



モノづくりでは、ビーズと髪留め用のピンを使ったキーホルダーづくりや、学校林周辺で見つけた小枝を使ってカードスタンドをつくりました。モノづくりプログラムは、上手につくることよりも、子どもたち自身が思い描く形に仕上げられるようサポートをしています。それぞれの個性が光る作品ができあがる様子は、見ていて本当におもしろいです。今回のおやつづくりは、クレープづくりを行ないました。子どもたちにはホイップクリームをつくってもらい、そこにイチゴやブルーベリーなどのジャムを混ぜ、好きなクリームを生地に乘せて包みます。厚真産のハスカップジャムも子どもたちには大人気でした。みんなのうれしそうな顔がクレープをより美味しくしていたように感じます。



子どもたちにとっては待ちに待った夏休み。通常の放課後子ども教室は、夏休み中はお休みとなりますが、特別教室として3つのプログラムを実施する予定となっております。大きな事故やケガもなく、楽しい夏休みを過ごし、2学期の始まりにはまた元気に放課後教室へ参加してくれることを願っています。